

速攻BIC逆転V

県総合ハンド

ハンドボールの第44回県総合選手権大会最終日は20日、八重瀬町東風平運動公園体育館で男女の決勝まで行われ、男子はBICが2連覇を狙う那覇西クラブを24-22の逆転で破り優勝した。

女子はレキオクラブがシールズを後半で突き放し、28-18で制した。男子BIC、女子レキオは、共に2年ぶりの栄冠。

男子BICは、後半の序盤に最大5点のリードを許したが、その後は堅守からの速攻を次々と決め、残り6分で逆転に成功。いったん追い付かれたが、残り2分から連続得点を挙げて勝ち越した。

女子レキオは同点で迎えた後半、伊良波梨沙と佐久川かおりを起点とした攻撃でリズムをつかみ、守備でもシールズに簡単にシュートを打たせなかった。

男子決勝の後半開始6分、BICは那覇西クラブに連続得点を許し、5点差をつけられた。

「ここを我慢しよう」（内山藤斗主将）。守りから攻撃に移る本来のプレススタイルに立ち返り、呉屋健太らが速攻を連発して猛追すると、14分すぎに飛び出したスカイプレーで17-17と那覇西クをとらえた。

20-20で迎えた残り6分、東弘起が左脚をつりながら相手の反則を誘い、7びスローを與那嶺潤が決めて逆転。1点リードで残りの1分、呉屋の速攻で得た7びスローを、またも與那嶺が決めてタメを押しした。

ハイライト

「決めなきゃいけない場面で、確実に決めようと思った」と、速攻で後半4得点を挙げた呉屋。「4月に若いメンバーにソフトチェンジして、やっと那覇西クに勝てた。これからどんどん勝ち進んで、常勝チームにしたい」と意気込んだ。

嶺井寛之監督は「個々の能力

はある。あとはどれだけベテランと若手がまとまるかだ」と、九州派遣が懸かる4月の県一般選手権を見据えていた。

（當山学）

【男子】

▽準決勝	那覇西ク	35
BIC	28	
19	16	
11	11	
17	10	
27	27	嶺南高
沖繩ク		

【女子】

▽決勝	BIC	24	▽決勝	那覇西ク	22
レキオ	32		レキオ	32	
15	9		17	15	
12	11		12	12	
17	11		17	11	
18	18	那覇西高	7	7	那覇西ク
ズ	ズ		シールズ		

後半本領 呉屋4得点



男子決勝 BIC-那覇西ク 前半、速攻でシュートを放つBICの呉屋健太＝八重瀬町東風平運動公園体育館



女子レキオク栄冠

女子決勝はレキオクラブが後半に攻守を立て直し、シーコルスを退けた。

「攻撃で横へといきすぎた」（東江正作監督）という前半は、相手にボールを奪わ

女子決勝 レキオクーシーコルス 試合終了間際、レキオクの伊良波梨沙（右）がロングシュートを決める

縦への攻め 伊良波点火

れ、立て続けに速攻を許し11-11の同点止まり。

勝ち越しの鍵を握ったのは左腕の伊良波梨沙だった。「縦に強くいくことで、周りが見えた」と、相手守備より頭一つ高く跳んでからの中長距離砲で得点を重ねながら、守備を引き付けて比嘉由紀乃、石原昌恵のポストプレーへつな

東江監督は「（エースの）佐久川かおりが波に乗れないところを、補ってお釣りが来るんじゃないかな」と頼もしげに見守った。

守備では全員が機能。後半は相手に近い位置から打たせず、ロングシュートにもブロックに入り、7点に抑えた。

昨年10月の仲田豊順杯に続く栄冠に、チーム最多8得点の伊良波は「やっとレキオの時代になったかな」と笑顔をみせた。